



町内視察

町議会では3月定例会会期中の3月12日に3常任委員会の所管事務調査として、新年度にオープン、完成する予定の地域情報センター・運動公園テニスコート施設・津花波地区排水整備(地下タンク)工事現場・町民図書館や完成にむけて着々と進んでいるマリントウン地区を担当課職員の説明を受けながら視察してきました。



完成した地域情報センターを視察



完了間近の津花波地区排水整備(地下タンク)を視察



オープンに向けて急ピッチの町民図書館を視察



マリントウン地区を視察

西原町議会だよりが2度目の奨励賞受章



県内町村議会で議会だよりが発刊されていますが、西原町議会だよりも平成十二年九月の創刊号以来二〇号の発刊のはこびとなりしました。
本議会だよりは平成十三年の奨励賞受賞に続き、十五年度の沖繩県町村議会広報コンクールにおいて二度目の受賞を受けました。
更に分かりやすい議会だよりをめざして頑張っていきます。

編集後記

平成十五年度は、三位一体の改革に伴う市町村合併問題にあげられた感がありました。住民投票の結果、合併が先送りになった訳で、当面は単独での行政運営を余儀なくされました。
新年度予算では、合併、非合併を問わず予想された地方交付税の大幅な減額があり、行政当局は予算編成に悲鳴をあげながらの三月定例会となりました。
その結果、町内諸団体への補助金の一率五%カット等もせざるを得なかった財政事情をご理解いただきたいと思っています。町民テニスコートの完成により二四年かけて事業完了となった運動公園や一〇月開館に向けて急ピッチで進む町立図書館の完成とは別に、マリントウン関連事業や道路整備等のハード事業やソフト事業等、多くの課題が山積しています。
交付税の減額は次年度以降も続くものと思われ、町民一体となつての特徴のある行政運営を目指すことが望まれます。
(仲宗根)